

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	外国語とその運用（露）		
英文授業科目名	Foreign Languages and Practice		
開講年度	2004年度	開講年次	3, 4年次
開講学期	5, 7(6, 8)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斉藤 毅（学内連絡教官 三浦 清美）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
ZVT03146@nifty.ne.jp	

【主題および達成目標】
<p>これまで第二外国語の授業などでロシア語を学んできた人が、さらに高いレベルのロシア語を運用できるよう、主に読解面の練習を行なう授業です。</p> <p>辞書を片手にロシアの雑誌や本を見て、大体の内容が分かったり、ロシア語でネット・サーフィンが行なえるくらいにまで、ロシア語に慣れることを達成目標とします。</p> <p>三年次まで第二外国語の授業が開講されている大学は、そうそうありません。このせっかくの機会を逃さず、少しでもやる気のある人は、ぜひ受講してみてください。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
露語第一・第二（あるいはそれと同等のロシア語経験があればよい）

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
露語演習、露語運用演習

【教科書等】
<p>教科書：露語第一・第二でもちいたロシア語の教科書をかならず持参してください。また、辞書を持っている場合は、それも持ってきてください。その他のテキストは授業時にプリントを配布します。</p> <p>参考書：辞書等については授業時に説明します。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

やさしく、しかもできるだけ内容の面白いロシア語テキストを講読し、ロシア語文章読解のコツを教えてゆきます。その際、初級文法の復習もていねいに行なってゆきます。
講読するテキストは、初回の授業で、受講者の意見も取り入れて決定します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

- 1) 平常点(出席、授業での参加態度など) 50%
- 2) 学期末試験、あるいはレポート 50%

(b) 評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、意欲的に取り組んでいる
- 2) 簡単なロシア語テキストの内容を、辞書を使って把握できる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。
とくに時間が必要な場合は、事前にメールにてご一報ください。

【学生へのメッセージ】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。
とくに時間が必要な場合は、事前にメールにてご一報ください。

【その他】